

対象者	氏名	選手A	年齢	*	性別	男
-----	----	-----	----	---	----	---

支援者	氏名	コーチ	年齢	*	性別	男
-----	----	-----	----	---	----	---



# Bennovation Report

対象者	選手A
支援者	コーチ



## ■ 1on1レポート

### ■ 1on1レポートとは

1on1レポートは、対象となる2人の特性を重ね合わせて比較したレポートです。

異なる特徴をもつ2人の特性を重ね合わせることで、個別のレポートでは見えにくかった2人の特徴の差をわかりやすく比較することができます。

### ■ 1on1レポートの構成

1on1レポートは「基本要素」「モチベーション特性」「ストレス特性」の3つのレポートで構成されています。

1. 基本要素の1on1レポート
2. モチベーション特性の1on1レポート
3. ストレス特性の1on1レポート

# 1. 基本要素の1on1レポート

## 1. 基本要素の1on1レポート

対象となる2人の基本要素を比較したものです。

- 基本要素は、偏りを4段階14対28項目で表しており、全ての特性や資質のもとになります。要素の偏りは人によって異なります。
- 相手の基本要素のうち、自分の偏りと近い要素は共感やすく、自分の偏りと隔たりがある要素は理解するのに時間がかかることがあります。
- 自分と相手の基本要素の違いを理解し、一歩ひいて落ち着いて見るのが大切です。

### 【上段のグラフと数値を確認する】

#### ① 上段のグラフを確認する

＜上段のグラフと数値は、【対象者】さんの基本要素を偏り（特徴）が強い順に並べたものです＞

- まず上のグラフで【対象者】さんの基本要素の特徴を確認します。
- 次に【支援者】さんの基本要素を確認します。【対象者】さんと比較して似ている部分、違っている部分を比較することができます。

#### ② 上段の数値を確認する

【数値が太字になっている＝グラフの偏りが逆になっている】

- 数値が太字で表示されている部分に注目します。太字で表示されている部分は、【対象者】さんと【支援者】さんの基本要素が反対の特徴を持っていることを示しています。
- この場合、2人が物事に対して異なった考えを持ち行動することが考えられます。
- 特に偏りの大きい要素がこの状態であるときは、意識して相手がこの特性を強みとして発揮できるように支援することが必要です。

【数値が太字になっていない＝グラフが同じ方向に偏っている】

- 数値が太字で表示されていない部分を確認します。太字になっていない部分は、【対象者】さんと【支援者】さんの基本要素が同じ特徴を持っていることを示しています。
- この場合、2人が物事に対して同じように感じ、考え、行動することが考えられます。
- たとえ同じ方向に偏っていても、その数値の差が大きい場合には、お互いに相手に対して大きなギャップを感じる場合があります。

### 【下段のグラフと数値を確認する】

#### ③ 下段のグラフと数値を確認し、値の差に注目する

＜下段のグラフと数値は【対象者】さんと【支援者】さんの基本要素の差（ギャップ）が大きい順に並べたものです＞

- グラフ/表の上にあるほど、2人の基本要素の特徴に差があり、ギャップが大きいことが分かります。



項目	対象者	支援者	差
自負	3.33	4.67	1.33
群居性	3.33	6.67	3.33
持続	2.67	2.00	0.67
現実	2.67	0.00	2.67
警戒	2.67	1.33	1.33
冷静	2.00	4.67	2.67
不感	1.33	2.67	1.33
多考	1.33	4.00	2.67
寛容	1.33	0.67	0.67
踏襲	0.67	2.00	1.33
内向	0.67	3.33	2.67
気長	0.67	4.00	3.33
謙遜	0.00	0.00	0.00
謙遜	0.00	4.67	4.67
群居性	3.33	6.67	3.33
自負	3.33	4.67	1.33
冷静	2.00	4.67	2.67
謙遜	0.00	4.67	4.67
多考	1.33	4.00	2.67
警戒	2.67	1.33	1.33
気長	0.67	3.33	2.67
内向	0.67	3.33	2.67
不感	1.33	2.67	1.33
持続	2.67	2.00	0.67
踏襲	0.67	2.00	1.33
寛容	1.33	0.67	0.67
現実	2.67	0.00	2.67
繊細	0.00	0.00	0.00

# 1. 基本要素の1on1レポート

**1. 基本要素 1on1** 選手Aさんの基本要素とコーチさんの基本要素を重ねて比較できるようにしたものです。

■ 選手A  
■ コーチ



		選手Aさんの偏り（特徴）が大きい順		選手A		コーチ		差
心理情緒特性	不惑		気分変化	気分変化	7.33	気分変化	2.00	5.33
心理情緒特性	群居性		自己尊重	自己尊重	6.00	自己尊重	4.00	2.00
心理情緒特性	繊細		大らか	繊細	4.67	大らか	4.67	9.33
意欲活力特性	気長		率先	気長	4.67	率先	6.67	11.33
対人社会特性	警戒		無警戒	警戒	4.67	無警戒	1.33	6.00
意欲活力特性	現実		野心	野心	4.67	野心	6.00	1.33
意識習慣特性	踏襲		進取	踏襲	3.33	進取	6.00	9.33
意識習慣特性	内向		外向	内向	3.33	外向	3.33	6.67
意識習慣特性	多考		少考	多考	3.33	少考	2.00	5.33
意識習慣特性	持続		変化	変化	2.67	変化	5.33	2.67
心理情緒特性	冷静		情熱	冷静	1.33	情熱	5.33	6.67
心理情緒特性	謙虚		自信	謙虚	1.33	自信	4.67	6.00
心理情緒特性	自責		楽観	楽観	0.67	楽観	2.67	2.00
対人社会特性	寛容		攻撃	*	0.00	攻撃	3.33	3.33

		2人の偏りの差（2人の違い）が大きい順		選手A		コーチ		差
意欲活力特性	気長		率先	気長	4.67	率先	6.67	11.33
心理情緒特性	繊細		大らか	繊細	4.67	大らか	4.67	9.33
意識習慣特性	踏襲		進取	踏襲	3.33	進取	6.00	9.33
心理情緒特性	冷静		情熱	冷静	1.33	情熱	5.33	6.67
意識習慣特性	内向		外向	内向	3.33	外向	3.33	6.67
対人社会特性	警戒		無警戒	警戒	4.67	無警戒	1.33	6.00
心理情緒特性	謙虚		自信	謙虚	1.33	自信	4.67	6.00
心理情緒特性	不惑		気分変化	気分変化	7.33	気分変化	2.00	5.33
意識習慣特性	多考		少考	多考	3.33	少考	2.00	5.33
対人社会特性	寛容		攻撃	*	0.00	攻撃	3.33	3.33
意識習慣特性	持続		変化	変化	2.67	変化	5.33	2.67
心理情緒特性	群居性		自己尊重	自己尊重	6.00	自己尊重	4.00	2.00
心理情緒特性	自責		楽観	楽観	0.67	楽観	2.67	2.00
意欲活力特性	現実		野心	野心	4.67	野心	6.00	1.33

「\*」は偏りが0.00（偏りなし）のもの



心理情緒特性	
繊細	細やかで繊細なタイプか、
大らか	おおざっぱなタイプか
自責	責任感があるが悲観的か、
楽観	楽観的だが責任感が薄いか
不惑	気分に波がないほうか、
気分変化	気分がコロコロ変化するほうか
冷静	クールで冷静にふるまうほうか、
情熱	明るく情熱的にふるまうほうか
群居性	仲間といることを好むか、
自己尊重	自分だけであることを好むか
謙虚	謙虚で過信しないほうか、
自信	自信とプライドに満ちているほうか
意識習慣特性	
踏襲	今まで通りのやり方を好むほうか、
進取	新しいものを好むほうか
内向	人間関係がせまく深いほうか、
外向	人間関係が広く浅いほうか
多考	思慮深く慎重なほうか、
少考	あまり考えず思い切りが良いほうか
持続	物事にこだわり簡単に諦めないほうか、
変化	あっさりとして柔軟なほうか
意欲活力特性	
現実	欲がなく現実を受けとめるほうか、
野心	大きな夢や目標を掲げるほうか
気長	のんびり悠然としているか、
率先	率先してテキパキとこなしていくほうか
対人社会特性	
寛容	人にやさしく寛容なほうか、
攻撃	言うべきことを言うほうか
無警戒	人や物事を信じやすく無警戒なほうか、
警戒	警戒心が強いほうか

対象者	氏名	選手A	年齢	*	性別	男
-----	----	-----	----	---	----	---

支援者	氏名	コーチ	年齢	*	性別	男
-----	----	-----	----	---	----	---

## 2. モチベーション特性の 1on1レポート

### 2. モチベーション特性の1on1レポート

対象となる2人のモチベーション特性を比較したものです。

- どのようなことにモチベーションを感じやすいか/感じにくい、その特性は人によって異なります。
- 人を応援しようとするとき、自分のモチベーション特性にあわせた声かけをしがちです。  
しかし、相手のモチベーション特性と食い違っている場合は相手のモチベーションがあがるとは限りません。
- 自分と相手のモチベーション特性の違いを理解し、相手のモチベーション特性にあわせた声かけを意識することが大切です。

#### 【上段のグラフと数値を確認する】

##### ①. 数字が紫色太字になっている特性……【支援者】さんより【対象者】さんのほうがモチベーションが上がりやすい特性です。

- 【支援者】さんにとっては【対象者】さんほどにはモチベーションが上がらない特性なので、【対象者】さんのモチベーションを上げるための声かけが充分でない可能性があります。
- 特に上の方に紫色太字になっている特性がある場合は、その特性にあわせた声かけをもう少し意識してみてください。

##### ②. 数字が緑色太字になっている特性……【対象者】さんより【支援者】さんのほうがモチベーションが上がりやすい特性です。

- 【対象者】さんにとっては【支援者】さんほどにはモチベーションが上がらない特性ですが、【対象者】さんのモチベーションが上がると感じモチベーションを上げようとしてしまい、声かけが空回りしている可能性があります。
- 特に下のほうに緑色太字になっている特性がある場合は、その特性にあわせた声かけは少し控えめに様子を見るようにしてください。

#### 【下段のグラフと数値を確認する】

##### ③. 下段のグラフと数値を確認し、値の差に注目する

###### (1) 値の差が大きい特性

- 【対象者】さんと【支援者】さんのモチベーションの感じ方に差があるため、声かけが食い違いやすい特性です。
- 【支援者】さんの特性ではなく【対象者】さんの特性のほうを強く意識した声かけを心掛けてください。

###### (2) 値の差が小さい特性

- 【対象者】さんと【支援者】さんのモチベーションの感じ方が比較的近い特性です。
- お2人の特性にあわせた温かい声かけを継続してください。



## 2. モチベーション特性の 1on1レポート

**2. モチベーション特性 1on1** 特性を、選手Aさんのモチベーションが上がりやすい順に並べ、そこにコーチさんの特性を重ねています。



モチベーションが  
上がりにくい ← → モチベーションが  
上がりやすい



対象者	氏名	選手A	年齢	*	性別	男
-----	----	-----	----	---	----	---

支援者	氏名	コーチ	年齢	*	性別	男
-----	----	-----	----	---	----	---

### 3. ストレス特性の1on1レポート

#### 3. ストレス特性の1on1レポート

対象となる2人のストレス特性を比較したものです。

- どのようなことにストレスを感じやすいか/感じにくい、その特性は人により異なります。
- 自分が感じにくいストレスについては配慮しきれずに相手にストレスをかけすぎている可能性があります。一方適度なストレスは成長のために必要なことでもあります。自分が感じやすいストレスについては配慮しすぎて適度なストレスを相手にかけきれずにいる可能性もあります。
- 自分と相手のストレス特性の違いを理解し、相手のストレス特性にあわせた配慮を意識することが大切です。

#### 【上段のグラフと数値を確認する】

##### ①. 数字が紫色太字になっている特性……【支援者】さんより【対象者】さんのほうがストレスを感じにくい特性です。

- 成長のためには、ときには適度なストレスのなかで頑張ることも必要ですが、【対象者】さんよりも【支援者】さんのほうが先にストレスを感じてしまいがちなため、まだ頑張れるのにその頑張りを回避させてしまっている可能性があります。
- 特に上の方に紫色太字になっている特性がある場合は、その特性へのストレスの感じにくさを活用してもう少し頑張るよう支援する声かけを意識してみてください。

##### ②. 数字が緑色太字になっている特性……【対象者】さんより【支援者】さんのほうがストレスを感じにくい特性です。

- 【支援者】さんは【対象者】さんほどにはストレスを感じない特性なので、配慮しきれずストレスをかけすぎてしまっている可能性があります。
- 特に下の方に緑色太字になっている特性がある場合は、【支援者】さんの感じ方ではなく、【対象者】さんの感じ方を大切に、ストレスがかからないよう配慮した声かけを心がけてください。

#### 【下段のグラフと数値を確認する】

##### ③. 下段のグラフと数値を確認し、値の差に注目する

###### (1) 値の差が大きい特性

- 【対象者】さんと【支援者】さんのストレスの感じ方に食い違いが起りやすい特性です。
- 【支援者】さんの特性ではなく【対象者】さんの特性のほうを強く意識した配慮を心がけてください。

###### (2) 値の差が小さい特性

- 【対象者】さんと【支援者】さんのストレスの感じ方が比較的近い特性です。
- お2人の特性にあわせた温かい配慮を継続してください。

ストレスの種類	●●●●●の数値(緑)が大きい	●●●●●の数値(紫)が大きい	差	この数値が大きい理由
活動	556.7	372.3	183.3	運動や作業のペースが速い、集中力が高い、作業のペースが速い、集中力が高い
活動	540.0	346.7	193.3	他人のペースに合わせ、自分のペースで進めたい、自分のペースで進めたい
活動	520.0	406.7	113.3	結果を出すまで我慢が足りない、結果を出すまで我慢が足りない
活動	518.3	396.3	120.0	他人と競争せず、結果を出す、結果を出す、結果を出す
活動	506.7	463.3	43.3	他人と競争せず、結果を出す、結果を出す、結果を出す
活動	503.3	580.0	76.7	結果を出すまで我慢が足りない、結果を出すまで我慢が足りない
活動	491.7	635.0	143.3	結果を出すまで我慢が足りない、結果を出すまで我慢が足りない
活動	485.0	618.3	133.3	結果を出すまで我慢が足りない、結果を出すまで我慢が足りない
活動	463.3	620.0	156.7	結果を出すまで我慢が足りない、結果を出すまで我慢が足りない
活動	460.0	546.7	86.7	結果を出すまで我慢が足りない、結果を出すまで我慢が足りない
活動	451.3	601.7	150.0	結果を出すまで我慢が足りない、結果を出すまで我慢が足りない
活動	433.3	726.7	293.3	他人のペースに合わせ、自分のペースで進めたい、自分のペースで進めたい

### 3. ストレス特性の1on1レポート

#### 3. ストレス特性 1on1

特性を、選手Aさんがストレスを感じにくい順に並べ、そこにコーチさんの特性を重ねています。

■ ストレスに対する『感じにくさ』を、1000点満点で表しています。  
 ■ 数字が大きいほどその項目に対するストレスを感じにくく、数字が小さい程ストレスを感じやすい傾向を表します。



ストレスを感じやすい ←————→ ストレスを感じにくい

